

第2回

県立大学の設置・拡充に関する検討委員会

項目	内容	ページ
1	高校生・保護者アンケート調査結果	2～7
2	企業アンケート調査結果	8～10
3	企業ヒアリング調査結果	11
4	経済産業省関連資料	12
5	県内大学等の状況	13～14
6	県内大学等からのご意見	15

令和7年10月22日
香川県政策部

1 高校生・保護者アンケート調査結果

【結果概要】 高校生・保護者アンケート調査

- 1 調査対象** ①高校生向け
 県内全43高校（公立・私立） 全日制、定時制、通信制課程の生徒（全学年）
 ※生徒数：24,520人（R7.5.1現在の数値）（回答者数：9,911人 回答率 40.4%）
 ②保護者向け 上記①の生徒の保護者（回答者数：5,192人）
- 2 実施期間** R7年6月9日（月）～7月18日（金）（約1ヶ月間）
- 3 実施方法** 「香川県電子申請・届出システム」のアンケート機能により実施
- 4 質問内容** □属性（高校名、学科、学年、性別）
 □質問（計9問）
 ①卒業後の進路の希望（学校種別、就職など） ②進学を希望する地域
 ③進学を希望する学校の設置者 ④進学を希望する学部、学科等
 ⑤進路を決めるにあたって重要視すること ⑥県内大学等がどうであったら県内進学したいか
 ⑦新たな県立大学がどうであったら進学先の選択肢として考えるか
 ⑧大学卒業後に就きたい職業 ⑨将来的に就職したい地域

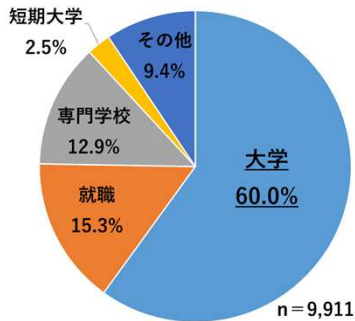
調査対象内訳

R7.5.1現在	学校数 (校)	学校計 (人)	課程別内訳		
			全日制 (人)	定時制 (人)	通信制 (人)
県立高校	29	16,720	16,096	278	346
公立高校	1	787	787		
私立高校	13	7,013	5,796		1,217
県内全校	43	24,520	22,679	278	1,563

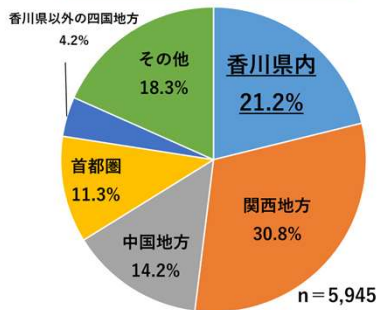
1 高校生・保護者アンケート調査結果

高校生

質問1 高校卒業後の進路希望

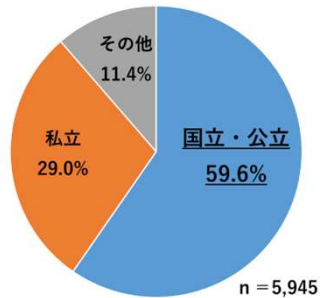


質問2 進学を希望する地域



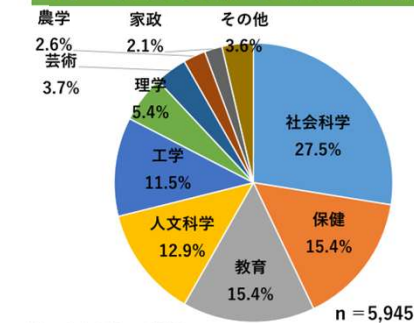
※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

質問3 進学先の設置者の希望



※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

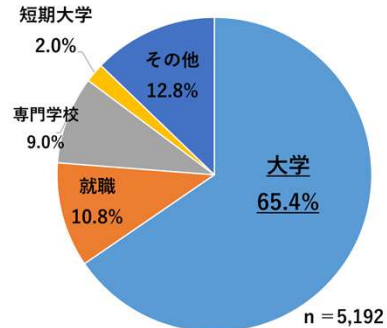
質問4 希望する学部・学科等 (第1希望)



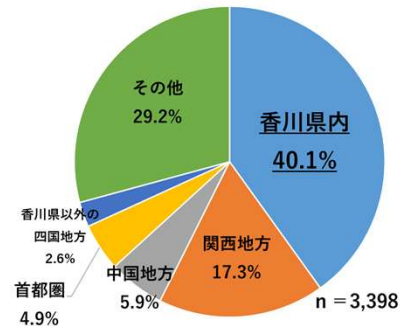
※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

保護者

質問1 高校卒業後の進路希望

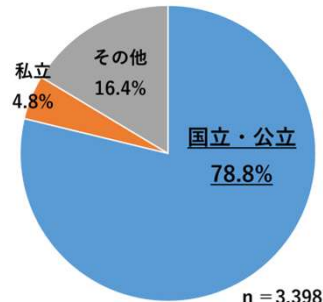


質問2 進学してほしい地域



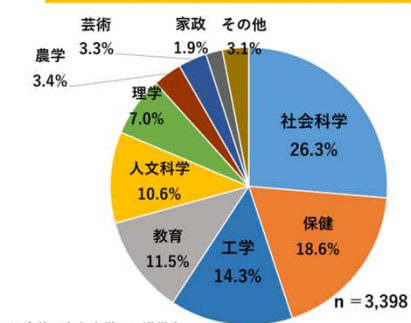
※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

質問3 進学してほしい学校の設置者



※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

質問4 希望する学部・学科等 (第1希望)

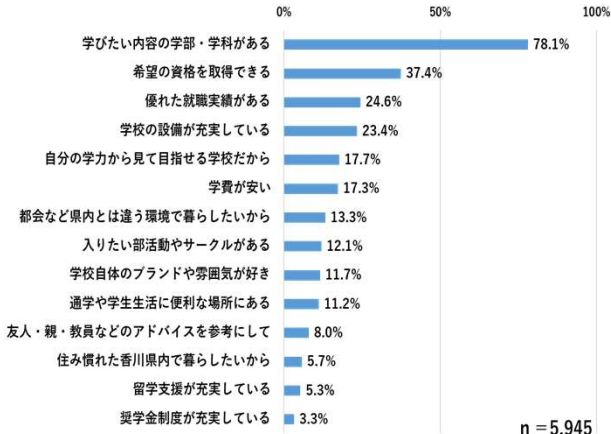


※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

1 高校生・保護者アンケート調査結果

高校生

質問5 進路を決めるにあたって重要視すること（3つまで選択可）

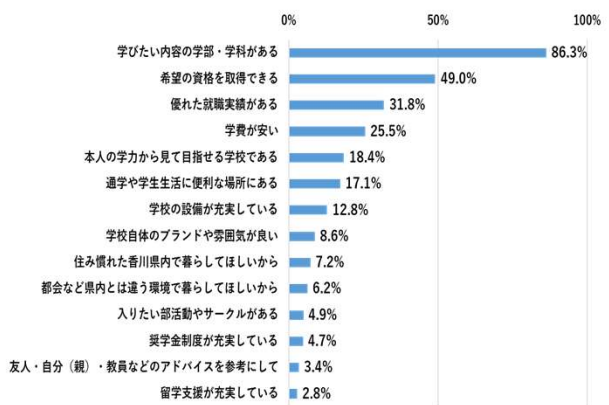


※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

n = 5,945

保護者

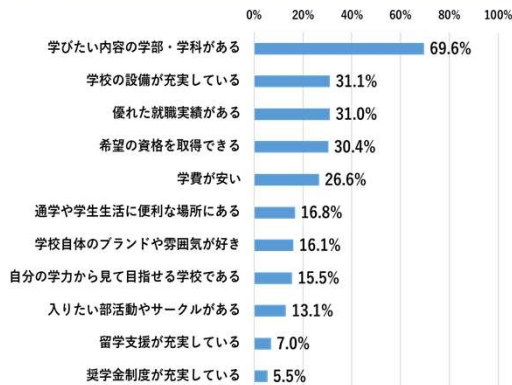
質問5 進路を決めるにあたって重要視してほしいこと（3つまで選択可）



※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

n = 3,398

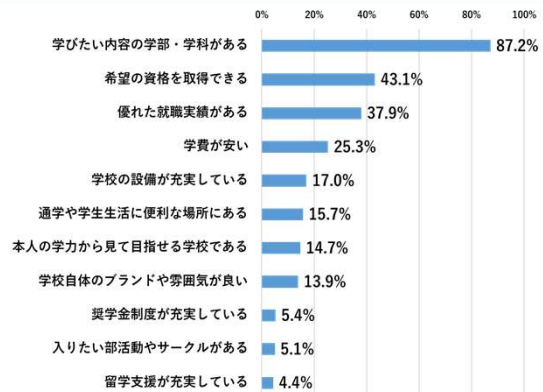
質問6 県内の大学がどうであったら進学したいか（3つまで選択可）



※「県外」進学希望者かつ全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

n = 4,687

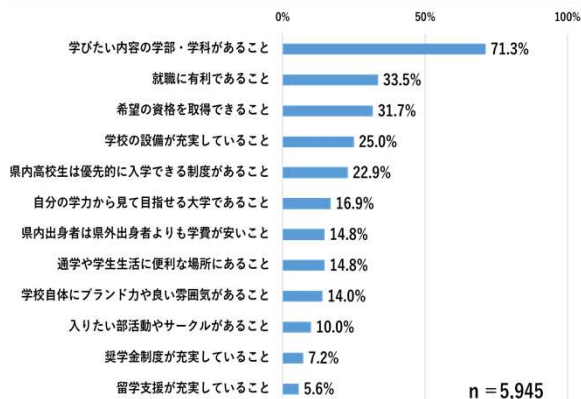
質問6 県内の大学等がどうであったら進学してほしいか（3つまで選択可）



※「県外」進学希望者かつ全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

n = 2,036

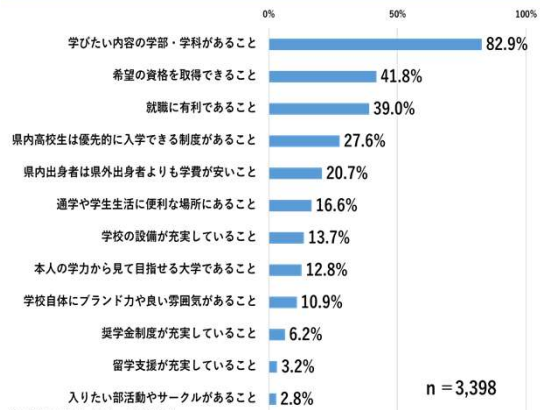
質問7 県立大学がどうであったら進学先の選択肢として考えるか（3つまで選択可）



※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

n = 5,945

質問7 県立大学がどうであったら進学先の選択肢として考えるか（3つまで選択可）



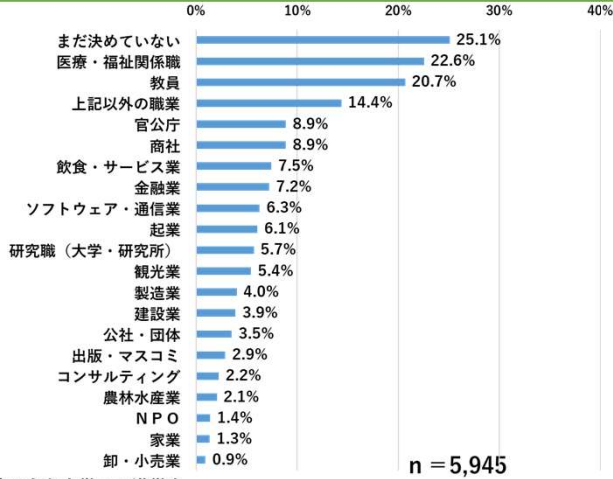
※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

n = 3,398

1 高校生・保護者アンケート調査結果

高校生

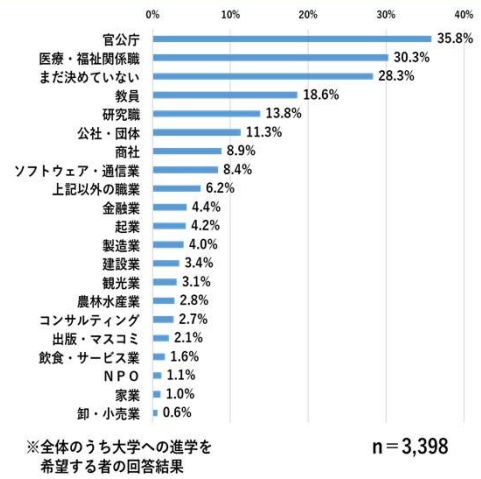
質問8 大学卒業後、どのような仕事につきたいか（3つまで選択可）



※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

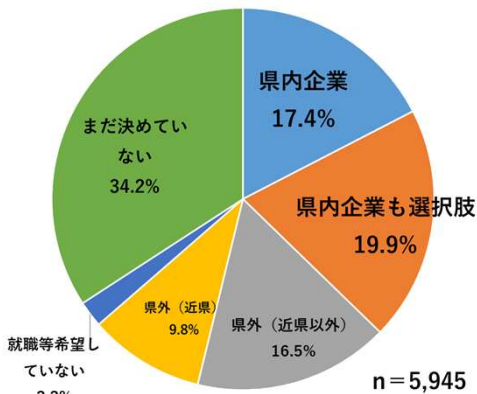
保護者

質問8 大学卒業後、どのような仕事についてほしいか（3つまで選択可）



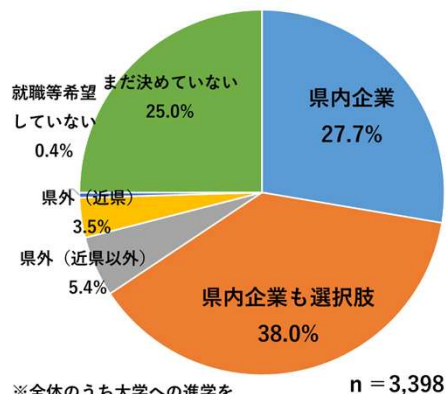
※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

質問9 将来的に、どの地域の企業に就職等したいか



※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

質問9 将来的に、どの地域の企業に就職等してほしいか



※全体のうち大学への進学を希望する者の回答結果

1 高校生・保護者アンケート調査結果（詳細）

高校生

「質問2 進学を希望する地域」と
「質問4 進学を希望する学部・学科（第1希望）」のクロス集計

	香川県内	香川県以外の 四国地方	中国地方	首都圏	関西地方	その他	総計
人文科学	11.1%	3.3%	10.7%	11.6%	44.1%	19.2%	100.0%
社会科学	22.5%	4.3%	10.6%	13.7%	35.6%	13.3%	100.0%
理学	14.6%	2.8%	18.0%	13.4%	26.1%	25.2%	100.0%
工学	20.3%	5.1%	13.5%	12.2%	26.0%	22.9%	100.0%
農学	25.3%	6.5%	15.6%	5.2%	14.9%	32.5%	100.0%
保健	28.9%	5.0%	22.9%	7.0%	18.3%	17.9%	100.0%
家政	12.3%	7.4%	18.0%	5.7%	37.7%	18.9%	100.0%
教育	27.5%	3.5%	14.1%	9.6%	28.7%	16.5%	100.0%
芸術	7.2%	0.9%	9.9%	20.7%	35.1%	26.1%	100.0%
その他	16.2%	5.1%	15.3%	8.8%	34.3%	20.4%	100.0%
総計	21.2%	4.2%	14.2%	11.3%	30.8%	18.3%	100.0%

※全体のうち大学への進学を希望する者（5,945人）の回答結果

n=5,945

「質問6 県内の大学がどうであったら進学したいか（3つまで回答可）」と
「質問2 進学を希望する地域」のクロス集計

	学びたい内容の学部・学科がある	希望の資格を取得できる	優れた就職実績がある	留学支援が充実している	入りたい部活動やサークルがある	学校の設備が充実している	学校自体のブランドや雰囲気が好き	自分の学力から見て目指せる学校である	通学や学生生活に便利な場所にある	学費が安い	奨学金制度が充実している	回答数 = n
香川県以外の四国地方	70.4%	40.0%	25.2%	3.2%	15.2%	24.4%	10.4%	23.2%	20.0%	36.8%	5.2%	250
中国地方	77.3%	38.8%	30.1%	3.8%	6.6%	29.1%	13.1%	15.7%	18.8%	28.3%	5.9%	845
首都圏	60.8%	20.7%	37.3%	10.4%	17.7%	32.6%	22.2%	11.3%	13.9%	20.7%	3.7%	671
関西地方	66.0%	27.1%	33.0%	8.5%	13.0%	33.3%	20.4%	12.6%	17.0%	24.1%	6.1%	1,831
その他	75.0%	33.2%	25.8%	5.6%	14.8%	29.4%	8.6%	21.1%	15.9%	30.8%	5.3%	1,090

※「県外」進学希望者かつ全体のうち大学への進学を希望する者（4,687人）の回答結果

「質問6 県内の大学がどうであったら進学したいか（3つまで回答可）」と
「質問4 希望する学部・学科（第1希望）」のクロス集計

	学びたい内容の学部・学科がある	希望の資格を取得できる	優れた就職実績がある	留学支援が充実している	入りたい部活動やサークルがある	学校の設備が充実している	学校自体のブランドや雰囲気が好き	自分の学力から見て目指せる学校である	通学や学生生活に便利な場所にある	学費が安い	奨学金制度が充実している	回答数 = n
人文科学	76.2%	22.2%	26.3%	20.7%	11.5%	29.4%	21.0%	17.9%	15.4%	21.0%	4.0%	680
社会科学	58.3%	24.0%	40.6%	6.1%	14.5%	31.4%	19.7%	18.0%	17.2%	26.7%	5.0%	1269
理学	76.4%	22.5%	34.5%	3.6%	9.5%	35.3%	14.5%	17.1%	14.5%	24.4%	4.0%	275
工学	72.9%	26.5%	40.9%	5.2%	8.1%	31.9%	13.6%	13.3%	16.0%	29.3%	5.5%	543
農学	84.3%	31.3%	24.3%	2.6%	7.0%	27.8%	10.4%	17.4%	24.3%	27.0%	4.3%	115
保健	71.2%	48.4%	25.9%	4.5%	6.8%	29.7%	12.6%	13.9%	20.0%	29.0%	5.7%	649
家政	83.2%	44.9%	19.6%	0.9%	5.6%	30.8%	8.4%	8.4%	18.7%	34.6%	7.5%	107
教育	65.7%	42.9%	20.7%	2.4%	25.1%	29.8%	12.8%	14.4%	14.4%	24.2%	7.4%	662
芸術	88.3%	14.1%	26.2%	5.3%	9.2%	37.9%	17.0%	10.7%	16.0%	33.5%	6.8%	206
その他	74.0%	29.3%	18.8%	5.0%	20.4%	29.8%	13.3%	12.7%	16.6%	29.8%	7.7%	181

※「県外」進学希望者かつ全体のうち大学への進学を希望する者（4,687人）の回答結果

1 高校生・保護者アンケート調査結果（詳細）

高校生

「質問7 県立大学がどうであったら進学先の選択肢として考えるか（3つまで回答可）」と「質問2 進学を希望する地域」のクロス集計

	学びたい内容の学部・学科があること	希望の資格を取得できること	県内高校生は優先的に入学できる制度があること	就職に有利であること	留学支援が充実していること	入りたい部活動やサークルがあること	学校の設備が充実していること	学校自体にブランド力や良い雰囲気があること	自分の学力から目指せる大学であること	通学や学生生活に便利な場所にあること	県内出身者は県外よりも学費が安いこと	奨学金制度が充実していること	回答数 = n
香川県内	75.2%	34.3%	24.6%	32.1%	2.9%	6.6%	22.3%	6.2%	24.2%	19.7%	14.7%	8.7%	1,258
香川県以外の四国地方	73.2%	40.4%	29.6%	29.2%	1.6%	10.4%	21.6%	9.2%	19.2%	14.0%	16.4%	8.4%	250
中国地方	76.9%	38.7%	23.3%	33.4%	3.1%	6.0%	21.7%	14.2%	16.7%	14.4%	16.2%	5.7%	845
首都圏	61.4%	21.0%	23.5%	39.0%	10.3%	14.5%	28.5%	22.1%	8.8%	12.4%	12.7%	4.9%	671
関西地方	67.1%	28.5%	21.9%	33.6%	7.6%	10.9%	27.1%	19.7%	13.2%	13.7%	14.4%	7.5%	1,831
その他	75.0%	33.0%	20.1%	32.4%	5.4%	12.5%	25.9%	9.6%	19.4%	12.9%	15.3%	7.4%	1,090

※全体のうち大学への進学を希望する者（5,945名）の回答結果

「質問7 県立大学がどうであったら進学先の選択肢として考えるか（3つまで回答可）」と「質問4 希望する学部・学科（第1希望）」のクロス集計

	学びたい内容の学部・学科があること	希望の資格を取得できること	県内高校生は優先的に入学できる制度があること	就職に有利であること	留学支援が充実していること	入りたい部活動やサークルがあること	学校の設備が充実していること	学校自体にブランド力や良い雰囲気があること	自分の学力から目指せる大学であること	通学や学生生活に便利な場所にあること	県内出身者は県外よりも学費が安いこと	奨学金制度が充実していること	回答数 = n
人文科学	75.8%	22.4%	19.7%	32.3%	18.0%	8.8%	23.4%	18.0%	16.1%	14.0%	14.4%	5.8%	765
社会科学	62.3%	23.6%	23.9%	41.1%	4.6%	10.7%	25.3%	17.8%	19.1%	15.6%	14.2%	7.5%	1,637
理学	74.2%	23.6%	18.3%	40.1%	2.2%	7.1%	28.9%	13.4%	19.9%	17.4%	13.7%	8.4%	322
工学	73.6%	28.2%	23.2%	39.9%	4.0%	8.1%	27.2%	13.5%	15.9%	15.7%	15.1%	5.9%	681
農学	84.4%	31.2%	25.3%	37.0%	1.9%	4.5%	26.0%	11.0%	20.8%	11.0%	16.9%	3.2%	154
保健	77.0%	47.4%	26.3%	25.6%	3.8%	4.7%	23.0%	11.1%	14.0%	15.9%	15.7%	7.1%	913
家政	82.0%	45.1%	25.4%	20.5%	1.6%	4.9%	24.6%	9.0%	13.1%	14.8%	14.8%	9.0%	122
教育	66.9%	46.9%	21.2%	27.2%	3.3%	17.7%	22.2%	9.1%	15.9%	12.5%	15.0%	7.4%	913
芸術	86.5%	14.0%	23.0%	26.1%	3.6%	9.0%	35.1%	14.9%	13.5%	12.6%	17.1%	9.5%	222
その他	74.5%	28.2%	20.8%	22.2%	4.2%	16.2%	25.0%	11.6%	21.8%	14.8%	12.5%	12.0%	216

※全体のうち大学への進学を希望する者（5,945名）の回答結果

保護者

「質問7 県立大学がどうであったら進学してほしい大学の選択肢として考えるか（3つまで回答可）」と「質問2 進学を希望する地域」のクロス集計

	学びたい内容の学部・学科があること	希望の資格を取得できること	県内高校生は優先的に入学できる制度があること	就職に有利であること	留学支援が充実していること	入りたい部活動やサークルがあること	学校の設備が充実していること	学校自体にブランド力や良い雰囲気があること	本人の学力から目指せる大学であること	通学や学生生活に便利な場所にあること	県内出身者は県外よりも学費が安いこと	奨学金制度が充実していること	回答数 = n
香川県内	83.2%	45.2%	33.9%	39.0%	1.5%	1.9%	11.8%	6.0%	14.2%	21.4%	20.6%	6.8%	1,362
香川県以外の四国地方	87.5%	47.7%	42.0%	28.4%	1.1%	1.1%	12.5%	9.1%	13.6%	13.6%	12.5%	10.2%	88
中国地方	81.4%	49.2%	23.1%	40.2%	2.0%	2.5%	10.6%	11.1%	13.6%	16.6%	21.1%	7.5%	199
首都圏	70.2%	25.6%	19.0%	36.9%	9.5%	5.4%	23.2%	22.6%	10.7%	11.9%	19.6%	4.8%	168
関西地方	79.4%	37.9%	20.9%	42.0%	4.9%	4.4%	13.6%	14.6%	11.1%	12.1%	23.3%	4.6%	588
その他	86.5%	40.3%	23.9%	38.3%	3.8%	2.9%	15.4%	13.4%	11.9%	13.8%	20.1%	6.0%	993

※全体のうち大学への進学を希望する者（3,398名）の回答結果

2 企業アンケート調査結果

【結果概要】 企業アンケート調査

1 調査対象 及び回答数

- ①県内に本社又は主たる事業所を有する企業
- ②県外に本社又は主たる事業所を有するが、県内の支社、支店、事業所においてエリアの新卒採用活動を行っている企業
(回答者数：328社)

2 実施期間

R7年8月1日(金)～8月29日(金) (約1ヶ月間)

3 実施方法

「香川県電子申請・届出システム」のアンケート機能により実施

4 質問内容

- 属性 (企業形態、所在地、業種、規模)
- 質問
 - ・人手不足の状況
 - ・新卒採用の状況
 - ・事務/営業/販売系の状況
 - ・技術系の状況
 - ・今後の新卒採用の見通しなど

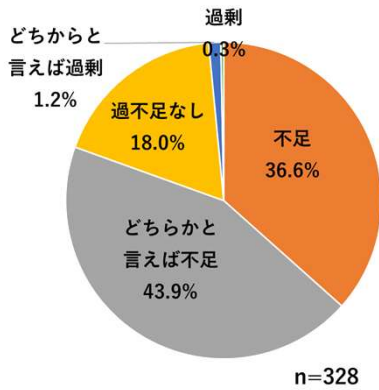
回答者属性

業種 (日本標準産業分類大分類)	企業数 (社)	全体に占める 割合
農業、林業	2	0.6%
鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.6%
建設業	54	16.5%
製造業	113	34.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	2	0.6%
情報通信業	8	2.4%
運輸業、郵便業	7	2.1%
卸売業、小売業	61	18.6%
金融業、保険業	11	3.4%
不動産業、物品賃貸業	2	0.6%
学術、専門・技術サービス業	12	3.7%
サービス業(他に分類されないもの)	24	7.3%
宿泊業、飲食サービス業	7	2.1%
生活関連サービス業、娯楽業	9	2.7%
教育、学習支援業	2	0.6%
医療、福祉	3	0.9%
複合サービス事業	4	1.2%
分類不能の産業	5	1.5%
総計	328	100.0%

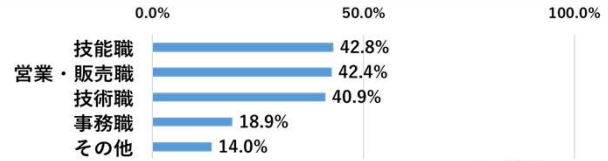
企業規模 (従業員数)	企業数 (社)	全体に占める 割合
1～5人	35	10.7%
6～20人	84	25.6%
21～50人	72	22.0%
51～100人	56	17.1%
101～300人	42	12.8%
301～1,000人	23	7.0%
1,001～2,000人	4	1.2%
2,001人以上	12	3.7%
総計	328	100.0%

2 企業アンケート調査結果

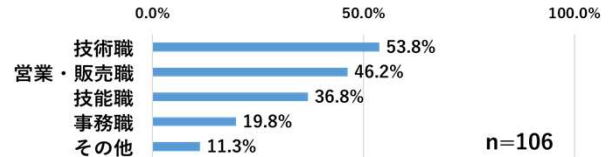
質問1 人手不足の状況



質問2 人手不足である職種（複数回答可）



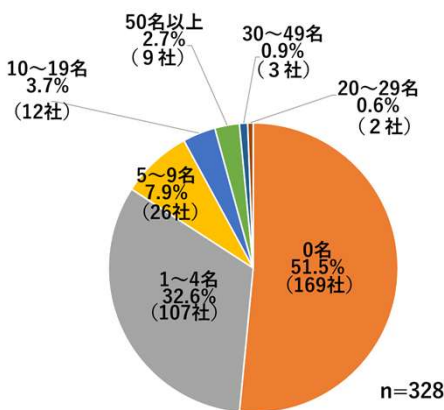
※質問1 人手不足の状況について、「不足」、「どちらかと言えれば不足」と回答した企業の集計



※上記グラフの結果について、質問4 新卒採用人数（大学院卒、大学卒、高専卒）で「0名」と回答した企業を除いた場合の集計

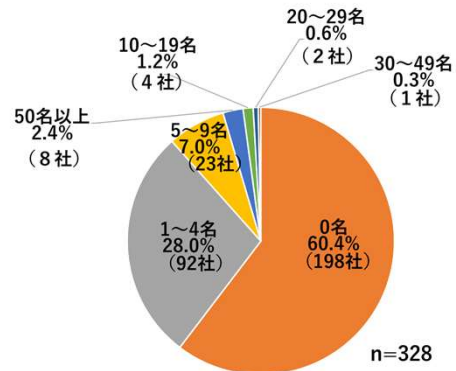
質問3 新卒採用人数

R 6年4月、R 7年4月、R 8年4月（見込）の3ヶ年を平均した新卒採用人数



質問4 新卒採用人数（大学院卒、大学卒、高専卒）

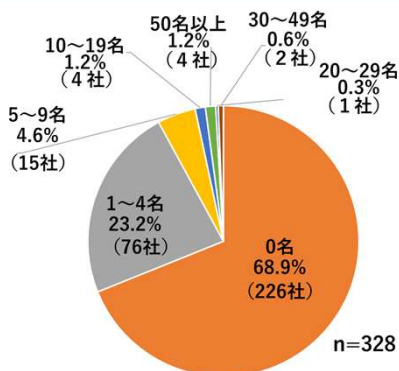
質問3の新卒採用人数（R 6年4月、R 7年4月、R 8年4月（見込）の3ヶ年を平均した新卒採用人数）のうち、大学院卒、大学卒、高専卒をあわせた新卒採用人数（3ヶ年平均）



質問5 新卒採用人数

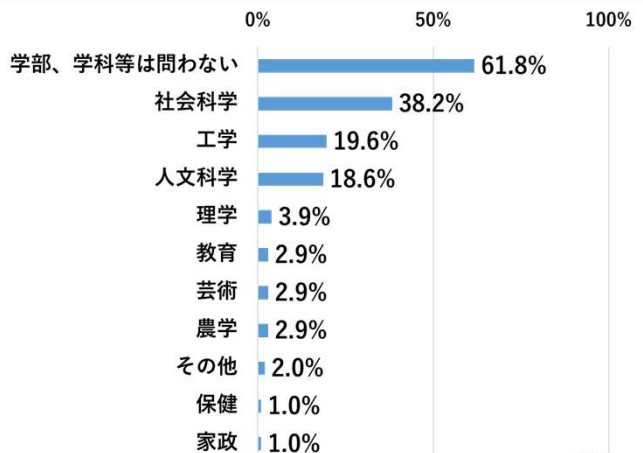
（事務・営業系、販売系の大学院卒、大学卒、高専卒）

質問4の大学院卒、大学卒、高専卒をあわせた新卒採用人数（R 6年4月、R 7年4月、R 8年4月（見込）の3ヶ年を平均した新卒採用人数）のうち、「事務・営業・販売系」での採用人数



質問6 事務・営業・販売系職種で必要な人材

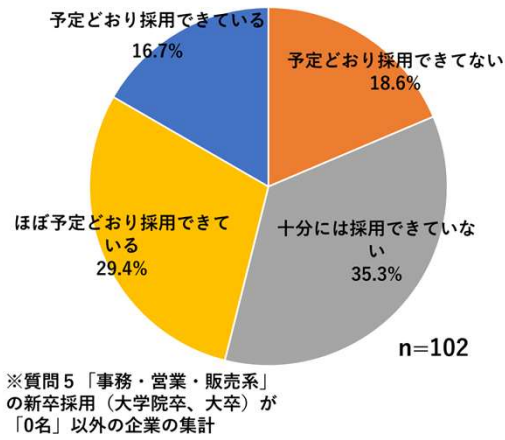
（3つまで回答可）



※質問5 新卒採用人数（大学院卒、大学卒、高専卒）のうち「事務・営業・販売系」で「0名」と回答した企業を除いた場合の集計

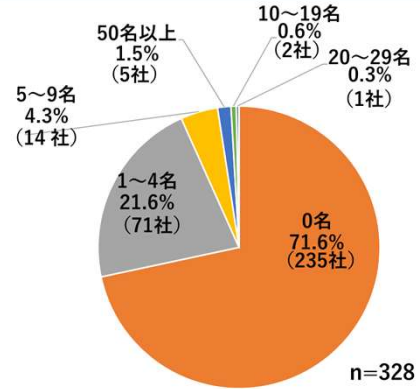
2 企業アンケート調査結果

質問7 事務・営業・販売系職種の充足度

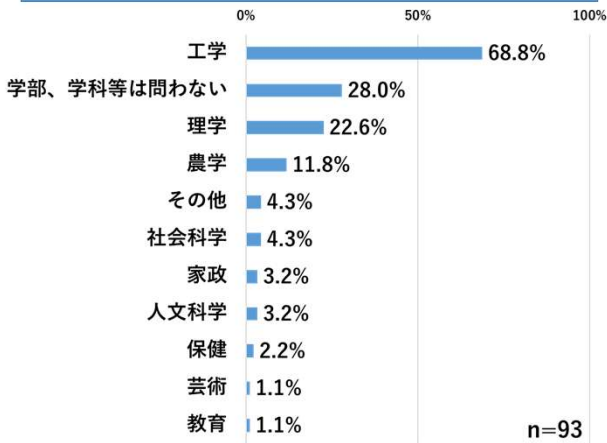


質問8 新卒採用人数 (技術系の大学院卒、大学卒、高専卒)

質問4の大学院卒、大学卒、高専卒をあわせた新卒採用人数（R6年4月、R7年4月、R8年4月（見込）の3ヶ年を平均した新卒採用人数）のうち、「技術系」での採用人数

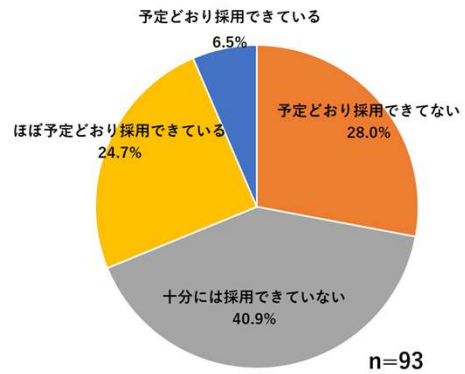


質問9 技術系職種に必要な人材 (3つまで回答可)



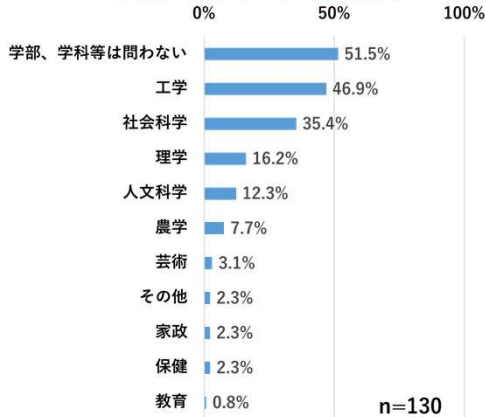
※質問8 新卒採用人数（大学院卒、大学卒、高専卒）のうち「技術系」で「0名」と回答した企業を除いた場合の集計

質問10 技術系職種の充足度



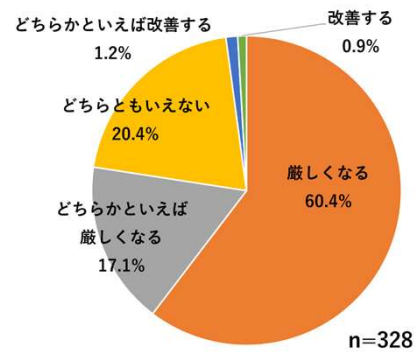
※質問8「技術系」の新卒採用（大学院卒、大卒）が「0名」以外の企業の集計

質問11 事務系・技術系職種あわせて 必要な人材（3つまで回答可）



※質問4 新卒採用人数（大学院卒、大学卒、高専卒）で「0名」と回答した企業を除いた場合の集計

質問12 今後の新卒採用の見通し



3 企業ヒアリング調査結果

【結果概要】 企業ヒアリング調査

調査期間：R7年5月26日～8月26日

調査方法：企業を訪問し、人材確保の状況や、人材ニーズ等を聞き取り

訪問企業：28社

製造業、建設業、インフラ関連産業、金融業、卸・小売業、情報通信業、サービス業など様々な業種の中堅企業を中心として幅広く聞き取り

主なご意見

①人手不足の状況、採用の状況

- 8割以上の企業が、全体として人手不足と回答
- 6割以上の企業が、予定どおりの採用ができていないと回答
- 大卒では、**技術系の職種（工学、理学を学んだ学生）**の採用難の声が多くあった。製造業では、**機械、電気、情報**を学んだ学生が採用難、**建設業では建築**を学んだ学生が不足との声あり。

②人材ニーズ（どのような人材を求めているか）

- 製造業では、大卒等で**機械、電気、情報**を学んだ学生の採用ニーズが高い。加えて、製品に応じた分野（**化学、農学、建築・土木等**）のニーズも高い。
- 製造業以外では、**情報、通信、建築、土木、機械、電気**など業種に応じた分野へのニーズが高い。
- 事務職、営業職では、学部・学科を問わず、**人柄やコミュニケーション能力、地元への愛着、業務への興味**などを考慮するという声が多くあった。また、**法律、経済、経営、商業**を学んだ学生や、**語学力**がある学生を望む声もあり。
- 地元出身者については、定着率の高さから企業も採用したいとの声が多かった。

③人手不足の要因、今後の見通し

- 少子化や学生数の減を、人手不足の要因と回答する企業が多い。
- 人手不足や、人材確保の見通しは、さらに厳しくなるとの回答が多かった。
- 香川は、人材を供給する県内の大学の受け皿が小さい、理系の学部が少ないとの声があった。

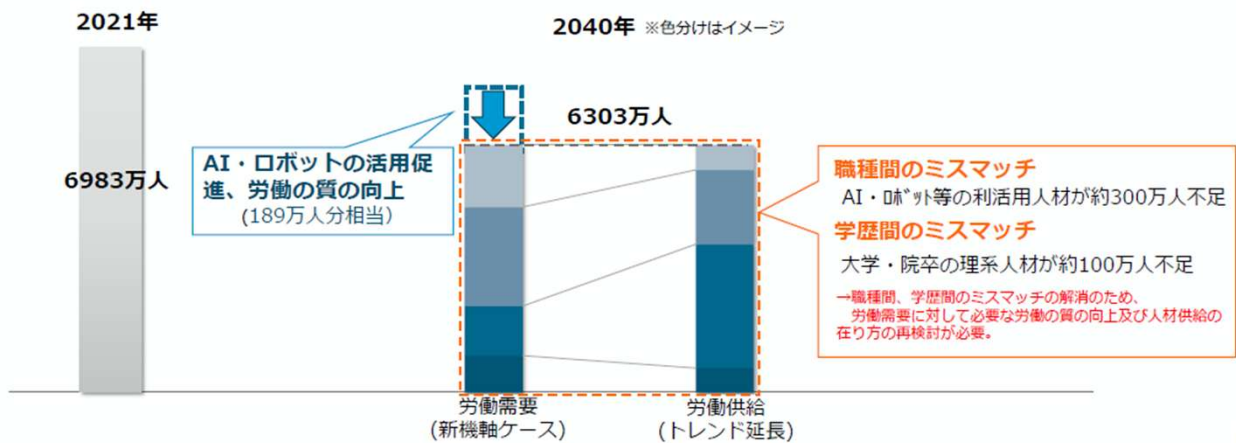
④県立大学への期待

- 「どのような人材を輩出するのかにもよる」などの前提を付ける企業もあるが、いずれも、**県立大学の設置・拡充が人材確保に寄与すると回答**。
- 期待する人材育成（学部・学科）について、7割以上が工学分野（**機械、電気、電子情報、建築、土木**など）を期待すると回答。理学（**化学**など）へのニーズの声もあった。
- 文系では、**法律、経済、経営**のほか**外国語**。
- その他、**文理融合型の学部や、情報の知識を持った人材**等のニーズの声もあった。

4 経済産業省関連資料 (「2040年に向けたシナリオ」の定量化と2040年の就業構造推計について)

2040年の就業構造推計

- 「2040年に向けたシナリオ・新機軸ケース」では、少子高齢化による人口減少に伴って労働供給は減少するものの、AI・ロボットの活用促進や、リスキリング等による労働の質の向上により大きな不足は生じない(約200万人分の不足をカバー)。今後、シナリオ実現に向けた政策対応が必要。
- 一方、現在の人材供給のトレンドが続いた場合、職種間、学歴間によってミスマッチが発生するリスクがあり、戦略的な人材育成や円滑な労働移動の推進が必要となる。



5

学歴間のミスマッチ

- 研究者や技術者等の専門職を中心に、大学・院卒の理系人材で100万人以上の不足が生じるリスク。また、生産工程を中心に、短大・高専等、高卒の人材も100万人弱の不足が生じるリスク。
- 事務職で需要が減少する一方、現在供給が増加傾向にある大卒文系人材は約30万人の余剰が生じる可能性。

		高卒	短大・高専等	大学理系	院卒理系	大学文系	院卒文系
全職業	2040年の労働需要 (2040年の労働供給 ※現在のトレンドを延長した場合)	2112万人 (2075万人)	1212万人 (1160万人)	685万人 (625万人)	227万人 (181万人)	1545万人 (1573万人)	83万人 (90万人)
	供給とのミスマッチ	-37万人	-52万人	-60万人	-47万人	28万人	7万人
	*2021年現在の就業者数	2735万人	1240万人	563万人	154万人	1332万人	70万人
主な職業の内訳 の労働需要の2040年	管理的職業	27	13	23	4.0	50	1.6
	専門的・技術的職業	190	311	210	151	438	57
	うちAI・ロボット等の活用を担う人材	94	52	78	87	155	27
	事務	295	251	157	31	397	12
	販売	214	122	76	7.5	271	3.9
	サービス	277	196	39	2.0	119	1.7
	生産工程	442	147	82	23	107	3.8
	輸送・機械運転	110	21	8.2	1.1	28	0.3
	運搬・清掃・包装等	214	60	17	1.2	56	0.6

(注) 職業分類は日本標準職業分類、学歴分類は令和2年国勢調査の区分による。分類表に含まれていない学歴分類(その他)があるため、ミスマッチのトータルは0にならない。職種分類は主要なもののみ掲載。(単位:万人)

7

5 県内大学等の状況

大学別の学部・学科及び入学定員（R7年度）

大学名	種別	文系学部・学科 (人文科学系/社会科学系)			理系学部・学科 (理工学系/農学系)			その他学部・学科 (保健系/家政系/教育・芸術系/その他)				学校計
		法学部	経済学部		創造工学部	農学部		教育学部	医学部			
1 香川大学	大学	160	250	410	330	150	480	160	186		346	1,236
2 県立保健医療大学	大学			-			-	保健医療学部			90	90
3 四国学院大学	大学	文学部	社会学部	社会福祉学部							-	290
4 高松大学	大学	経営学部						発達科学部			70	175
5 徳島文理大学	大学	文学部	総合政策学部		理工学部			香川薬学部	保健福祉学部		195	475
大学計		90	80	975	110		590	90	105		701	2,266
6 高松短期大学	短大	ビジネスデザイン学科		50				保育学科			40	90
7 香川短期大学	短大	経営情報・デザイン学科		70				食物栄養	子ども第1部	子ども第3部	145	215
8 せとうち観光専門職短期大学	短大	観光振興学科		40							-	40
短大計				160			-				185	345
(大学+短大) 総計				1,135			590				886	2,611

出展：各大学の公表情報をもとに作成

県内大学等のキャンパス

香川大学



県立保健医療大学



四国学院大学



高松大学・高松短期大学



徳島文理大学高松駅キャンパス



香川短期大学



せとうち観光専門職短期大学



画像出展：大学・地域共創プラットフォーム香川のホームページより

5 県内大学等の状況

入学定員充足率（R5～R7）

大学等	R5			R6			R7		
	入学定員	入学者数	充足率	入学定員	入学者数	充足率	入学定員	入学者数	充足率
香川大学	1,239	1,290	104.1%	1,239	1,285	103.7%	1,236	1,282	103.7%
県立保健医療大学	90	90	100.0%	90	88	97.8%	90	92	102.2%
四国学院大学	290	225	77.6%	290	188	64.8%	290	208	71.7%
高松大学	175	155	88.6%	175	154	88.0%	175	124	70.9%
徳島文理大学	395	280	70.9%	395	262	66.3%	475	455	95.8%
大学計	2,189	2,040	93.2%	2,189	1,977	90.3%	2,266	2,161	95.4%
高松短期大学	150	78	52.0%	90	82	91.1%	90	64	71.1%
香川短期大学	220	204	92.7%	215	173	80.5%	215	174	80.9%
せとうち観光専門職短期大学	80	20	25.0%	40	32	80.0%	40	23	57.5%
短期大学計	450	302	67.1%	345	287	83.2%	345	261	75.7%
合計	2,639	2,342	88.7%	2,534	2,264	89.3%	2,611	2,422	92.8%

（出典）各大学の公表情報をもとに作成

自県進学率（過年度卒業者等を含む）（R4～R6）

	R4	R5	R6
県内高校卒業の大学進学者数	4,876	5,031	4,801
うち県内大学への進学者数	850	874	851
自県進学率（全国順位）	17.4%（43位）	17.4%（44位）	17.7%（44位）

（出典）文部科学省「学校基本調査」をもとに作成

県内就職率（R5.3卒～R7.3卒）

	R5年3月卒			R6年3月卒			R7年3月卒		
	就職者数	うち県内	県内就職率	就職者数	うち県内	県内就職率	就職者数	うち県内	県内就職率
大学計	1,617	682	42.2%	1,560	625	40.1%	1,553	636	41.0%
短期大学計	285	251	88.1%	257	216	84.0%	231	198	85.7%
合計	1,902	933	49.1%	1,817	841	46.3%	1,784	834	46.7%

（出典）香川県地域活力推進課調べ

6 県内大学等からのご意見

県立大学の設置・拡充について

- 既存の県内大学の運営に直接影響がある。
- 既存大学と競合しないことが大切。学部・学科の重複を避けて欲しい。
- 県立大学で県内進学者を一定数確保しても、既存県内大学の進学者数が減少するのでは意味がない。県全体でプラスになることが必要。
- 大学の設置・拡充には多額の費用がかかる。県内大学に進学する学生の奨学金を充実させるなどの方がコストパフォーマンスが良いのではないかな。
- 文科省のデータでは、県立大学の設置・拡充により地域内入学者率・就職率が下がる傾向があると示されている。
- 文部科学省の推計によると、2040年度の県内大学への入学者数は1,444名。香川大学、県立保健医療大学と、仮に県立大学を設置・拡充した場合の定員だけですべて吸収できる数字になる。現状のままでも私立大学は厳しい状況の中で、賛成できない。
- 県立大学の詳細が不明で具体的な議論が難しい。県の考える大学像を早く示してほしい。

大学進学に対する意識について

- 県内の学生や保護者は関西・関東への進学志向が根強く、それが県外流出の要因ではないかな。
- 小・中・高の教育で、地元で進学したり、働くことも意識できるような取組みも必要ではないかな。
- 高校教員に、県の人口減少に対する危機感を認識し、県の魅力や愛着について盛り上げるということもしてもらいたい。

卒業後の就職先について

- 県立大学を作ったからというだけで、県内就職や定着が進むとは限らない。併せてしっかり県内定着の取組みをする必要がある。
- 地方と都会の給料の差も人口移動の一因ではないかな。香川県の中で給料をある程度もらえる産業、企業を育成していかなければならない。
- 四国の地方銀行などの調査では、「地元で愛着を感じている生徒は将来の地元定着志向が高い」、「将来的に地元で働くイメージを持てることが将来の居住地に影響を及ぼす」などのポイントが挙げられていた。

その他について

- お互い切磋琢磨して県内進学率を上げることが重要である。
- 既存の大学等の魅力を高める取組みへの支援も検討してほしい。
- 教員確保やサークル活動などは連携が可能である。
- 県内の人口減少、若者の流出が社会問題であることから、可能な施策は令和8年度から開始していただきたい。